

# 奈良県感染症情報

平成 27 年 第 25 週( 6 月 15 日～ 6 月 21 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 手足口病警報発令です！！

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	6.26	(3.79)	↑	↑	↑↑	↑
2	感染性胃腸炎	3.26	(4.74)	↓	↓	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	2.79	(4.06)	→	→	↓	↓
4	ヘルパンギーナ	0.68	(0.21)	↑↑	↑↑	↑↑	↗
5	突発性発しん	0.65	(0.56)	↗	↑	→	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

手足口病が警報開始基準値(5.0)を超え、警報発令となりました。特に奈良市保健所管内では前週に比べ3倍増となっています。県内全域および近隣府県でも報告数の増加が続いており、しばらくは流行が続くと予想されます。

手足口病は、発症から2、3日後に手のひら、足の裏、足の付け根、口内などに米粒大の水疱状の発疹が発生し痛みを伴う疾患です。基本的には予後は良好ですが、今回の流行では定点医療機関の先生より、手足口病罹患後、指と足の爪の剥がれる症例、巨大水疱形成の症例などが報告されています。

原因ウイルスはA群コクサッキーウイルスおよびエンテロウイルス71型が主体で、体調が回復しても、便からは1ヶ月程度ウイルスの排出が続きます。感染経路は口からの侵入ですので、日頃から石けんで十分に手洗いをすることが予防に大切です。

### MERS(マーズ)について

今回の韓国国内でのMERS(中東呼吸器症候群)の流行について、6月16日WHOは緊急事態ではないと結論づけました。韓国の患者から得られたウイルスがこれまでの中東の患者から得られたウイルスと比べていかなる重大な変異も起こしていないからです。では、これまでと変わりが無いのに、なぜ韓国では急激に拡大しているのでしょうか。WHOは、韓国でのMERS拡大の原因として、以下を指摘しています。

1. 医療従事者および国民一般におけるMERSに対する危機意識の欠如
2. 病院での適正を欠いた感染防御と制御対策
3. 混み合った救急室や病院の多病床でのMERS感染患者との濃厚で長時間の接触
4. 複数の病院で医療を求める「ドクターショッピング」の慣習
5. 接触者の間で二次感染を助長する病室内に、たくさんのお見舞客や家族が感染者とともに留まる慣習



(厚生労働省検疫所 FORTH より引用 <http://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2015/06181530.html>)

4.の「ドクターショッピング」とは、より良い成果を求めて医療機関を転々とする事です。たしかに韓国にMERSを輸入したとされる1例目の男性も、4軒目の医療機関でMERSと診断されるまで、1軒目で外来治療、2・3軒目で入院加療をされており、それぞれの医療機関でMERSが広がっています。また、家族やお見舞客がどっと押しかけ、病室に長居するという韓国の習慣についても、指摘事項にあがっています。

隣国という近くで起こっていることから不安を持たれると思いますが、情報への関心と正しい知識を持つことが大切です。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 25 週 6 月 15 日 ~ 21 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)						1 (0.50)	
咽頭結膜熱	18 (0.53)	4 (0.57)	5 (0.50)		8 (1.14)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	95 (2.79)	16 (2.29)	42 (4.20)	10 (1.43)	21 (3.00)		6 (3.00)	
感染性胃腸炎	111 (3.26)	23 (3.29)	31 (3.10)	28 (4.00)	22 (3.14)		7 (3.50)	
水痘	4 (0.12)	1 (0.14)			2 (0.29)		1 (0.50)	
手足口病	213 (6.26)	72 (10.29)	53 (5.30)	46 (6.57)	34 (4.86)	2 (2.00)	6 (3.00)	
伝染性紅斑	9 (0.26)	2 (0.29)	7 (0.70)					
突発性発しん	22 (0.65)	9 (1.29)	5 (0.50)	5 (0.71)	2 (0.29)		1 (0.50)	
百日咳								
ヘルパンギーナ	23 (0.68)	1 (0.14)	6 (0.60)	11 (1.57)	4 (0.57)	1 (1.00)		
流行性耳下腺炎	4 (0.12)	1 (0.14)	3 (0.30)					
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎							-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)	1 (1.00)						-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市3、郡山1、中和3)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(奈良市) 後天性免疫不全症候群1件(奈良市)

❖ 第25週のトピックス ❖

デング熱国内感染症例の積極的疫学調査結果の報告  
(国立感染症研究所 感染症疫学センターHP)  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																						3975	
	女																							3985
RSウイルス感染症	男					1																	1	198
	女																							192
咽頭結膜熱	男			1	2	1		1			1												6	157
	女		2	3	1	2	2		1						1								12	125
A群溶連菌咽頭炎	男			3	4	4	6	7	7	4	4	3	5	1	2								50	866
	女			2	4	4	7	4	7	4	4	3	4		2								45	758
感染性胃腸炎	男		3	8	4	7	4	7	3	1	1	4	6	1	7								56	2148
	女		3	8	4	8	5	3	7	2	1	2	3	1	8								55	2035
水痘	男			1		2		1															4	155
	女																							148
手足口病	男	1	7	32	24	17	17	11	3	4	1												117	652
	女	3	3	30	17	15	19	4	2	1	1	1											96	530
伝染性紅斑	男							2	2														5	66
	女						1			2		1											4	68
突発性発しん	男		1	12	1																		14	176
	女		1	6	1																		8	150
百日咳	男																							3
	女																							1
ヘルパンギーナ	男		1	7	1	2	1	1	1				1										15	30
	女			3	2	2	1																8	25
流行性耳下腺炎	男												1										1	48
	女												1										3	65
急性出血性結膜炎	男																							2
	女																							2
流行性角結膜炎	男																							37
	女																							33
細菌性髄膜炎	男																						1	3
	女			1																				4
無菌性髄膜炎	男																							1
	女																							1
マイコプラズマ肺炎	男					1																	1	4
	女																							7
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							59
	女			1																			1	44

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

